

令和4年の年頭のご挨拶

国立国会図書館長
吉永 元信



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新たな年を迎え、国会議員の皆様のご理解ご支援に改めて感謝申し上げます。国立国会図書館は、昨年、社会のデジタルシフトが加速している状況を踏まえ、情報資源と様々な知的活動を的確につなげていくため、今後5年間のビジョン「国立国会図書館ビジョン2021-2025—国立国会図書館のデジタルシフト—」を策定しました。国会サービスにおいても、これまで以上に情報環境の変化に留意し、国会サービスの一層の充実に努めてまいりたいと存じます。引き続きご支援とご指導をお願い申し上げます。

国立国会図書館では、調査及び立法考査局を中心に、国会の活動を補佐するため、国会議員の皆様のご個別のご依頼を受けて国政課題に関する調査を行い、その結果を調査回答として提供しています。調査に際しては、秘密の厳守と不偏不党はもとより、迅速性と正確性の確保に特に留意し、国会議員の皆様のご要望に的確にお応えできるよう努めています。調査回答は、資料の提供にとどまらず、調査報告書の作成や面談によるご説明等、ご要望に応じて充実を図っております。

調査及び立法考査局では、今後国会で議論されることが想定される国政課題について調査研究を行い、その成果を論文等にとりまとめ、刊行物等の形で提供しております。昭和26年5月創刊の本誌『レファレンス』においては、中長期的観点からの政策課題の分析や、諸外国の制度比較等を中心とした各種論文を掲載しています。そのほか、折々の国政課題の背景・論点を簡潔に解説した『調査と情報—ISSUE BRIEF—』、諸外国の法令の翻訳・解説等を掲載した『外国の立法』（季刊版・月刊版）、国の基本的な政策課題や科学技術に係る国政課題に関する各種調査プロジェクトの報告書等を刊行しております。これらは冊子以外に国会向けホームページ「調査の窓」を通じてもご覧いただけます。さらに、これらの成果を直接ご説明する政策セミナーも開催しています。

また、国立国会図書館では、衆議院・参議院両院の事務局と共同で国会会議録検索システムを構築して、インターネットを通じて提供するなど、国会発生情報を発信し、国民と国会をつなぐ機能の一翼を担っております。

社会の急速な変化を的確に見据え、多様化する政策課題に即した調査を着実に実施することにより、国会の補佐機関として一層のご信頼をいただけるよう、今後とも取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

